

ご当地検定

最近、“ご当地検定”がはやりである。北海道でも、去る平成18年11月23日に北海道商工会議所連合会が主催する「北海道観光マスター」の初回検定試験が行われ、全道各地で1,300人が受験するという盛況ぶりであった。この春から当所に設置された“地域景観ユニット”では、シーニックバイウェイ北海道を始めとして景観・観光・情報について幅広く研究することをミッションとしているので、“これは受験しなければなるまい”と話が盛り上がり、勢いに任せて有志で受験することにした。

しかし、いざ受験するとなると身構えるものである。観光関連の研究を担うユニットのリーダーが、検定に落ちては洒落にならない。早速公式テキストを入手して、試験の出題範囲などを調べてみた。北海道の基礎的な情報を始めとして、道内各地の観光資源、歴史、祭り、自然、交通、国際観光などについて幅広い知識が要求される。実際、試験を受けた感想では、120ページほどの公式テキストを隅々まで読みこなしていなければならないものであった。

一方、“北海道内で最も標高の高い国道の峠は？”といった道路に関連する設問もいくつか出されて、道路に関わる研究をしている者にとってはなじみ深い問題も多かった。あらためて、北海道の観光が道路と密接不可分であることを実感した次第である。

今回の検定受験は、ふだんあまり気にしていなかった北海道の歴史や文化、自然などの知識を再確認する上で、非常によい機会であった。国内各地で“ご当地検定”がはやっていることは、人々が自分の住んでいる地域のことをもっと理解したい、再確認したいと思っている気持ちの表れではないかと思われる。大変よいことだと思う。

合格発表は平成18年12月13日、合格者には合格証書と認定カードが発行されるそうである。もし万一試験に落ちていたら、この原稿は急遽差し替えである。この原稿が無事月報に掲載されることを祈るばかりである。

(雪氷チーム上席研究員・地域景観ユニットリーダー(兼務) 加治屋 安彦)

* * * *

表紙左上記号 ISSN 1881-0497の説明

国際的なコード番号である ISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号) は、ISSN ネットワークが管理する、逐次刊行物を識別するための固有の番号です。この番号は国立国会図書館 ISSN 日本センターから付与されたものです。